

**D Xハイスクール（域内横断的な取組）に係る教材コンテンツ等
作成業務 公募型プロポーザル選定委員会（第2回） 議事要旨**

項 目		内 容
1	日 時	令和7年10月14日（火）午前8時45分から午前12時00分まで
2	場 所	広島県庁本館6階 601会議室
3	出席委員	<p>広島県教育委員会事務局学びの変革推進部高校教育指導課長（委員長）</p> <p>広島県教育委員会事務局学びの変革推進部学校経営課長（副委員長）</p> <p>広島県教育委員会事務局学びの変革推進部教育改革課長</p> <p>広島県商工労働局産業人材課長</p> <p>【代理人：産業人材課参事】</p> <p>広島県商工労働局半導体産業課長</p> <p>【代理人：半導体産業課参事】</p>
4	議 題	<p>(1) 提案書に関するプレゼンテーション</p> <p>(2) 提案審査及び最優秀者の決定</p>
5	担当部署	教育委員会事務局学びの変革推進部高校教育指導課
6	開催方法	参集
7	議事内容	<p>1 審査方法</p> <p>提出された企画提案書を基にプレゼンテーションを行い、選定委員会において審査の上、最優秀提案者を選定した。</p> <p>2 審査結果</p> <p>(1) 審査対象者（無作為に決定したプレゼンテーション実施順）</p> <p>株式会社 SAMURAI 【A社】</p> <p>デジタルハリウッド株式会社 【B社】</p> <p>株式会社 SIGNATE 【C社】</p> <p>株式会社 Rejoui 【D社】</p> <p>株式会社 スプリックス 【E社】</p> <p>(2) 審査対象者の評価値</p> <p>別紙1「公募型プロポーザル結果一覧」及び別紙2「評価基準に基づく評価項目別の総合値」のとおり</p> <p>(3) 最優秀提案者</p> <p>株式会社 Rejoui 【D社】</p> <p>3 各委員の主な評価・選定理由</p> <p>(1) A社</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒が興味・関心をもって学習に取り組めるよう、身近な例を取り上げ、実際のデータを活用した教材を提案している点が評価できる。 提案資料が簡潔にまとめられ、分かりやすかった。また、キャリアとの繋がりについての提案内容についても評価できる。 実際の授業実践や、単元の中での留意点などについて具体的な説明があると良かった。

		<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会人向けの実績が多く、自治体等への類似の納入実績が少ないため、高校生向けのノウハウを有しているか判断できなかった。 ・ 対応の柔軟性や独自の提案内容について、やや分かりにくく感じた。 <p>(2) B社</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 同種の実績が十分にあり、他県でのこれまでの実績に基づいた探究プロセスにおける指導や評価が具体的に示されており、分かりやすい点が評価できる。 ・ 生徒への動機付けを高める工夫など、柔軟な対応が可能な点が評価できる。 ・ 他自治体の取組との違いを明確にし、広島県の特性を生かした教材についての具体的かつ積極的な提案があれば良かった。 ・ キャリア教育への接続について具体的な提案があれば更に良かった。 <p>(3) C社</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教材の工夫として、学習者のデータサイエンスに関する興味を引き出し、動機付けを高めるため、学習活動の中で意思決定させる場面を設定し、ゲーム的な要素を取り入れている点や分析課題を通じながらデータ活用スキルを養うなど動機付けを高める工夫が評価できる。 ・ AIに関する知見が豊富な点が評価できる。 ・ 地域に関するデータ及び課題についてなどの提案内容に具体性があれば更に良かった。 ・ 高校生向けの提案内容になっているか、判断しにくい部分があった。 <p>(4) D社</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒が体系的にデータサイエンスを学び探究活動へ発展させていくことができるよう、教員が段階的につながりを重視しながら指導を行うための講座内容の整理と構造化がされている点が評価できる。 ・ 提案内容が最も具体的であり、実際の授業がイメージできる。 ・ AI活用や情報モラルも内容に組み込まれており、実社会とのかかわりを意識した提案になっている。 ・ 仕様書に記載されていない活用可能な提案があれば更に良かった。 <p>(5) E社</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教材の工夫として生徒の状況に応じた授業動画の企画や演習教材のレベル設定、教員への伴走支援については評価できる。 ・ ショート動画の活用など、生徒のデータサイエンス活用に対する動機付けの工夫は評価できる。 ・ 資料及び説明において、より具体的な内容であれば良かった。 ・ 指導者向けの対応やデータサイエンスについての強みがあまり感じられなかった。
--	--	---